

4.総会等報告

(1) 2016年度地域安全学会総会 報告

1) 2015年度事業報告

① 理事会の開催

2015年度は理事会を下記のとおり開催した。

第1回 2015年 5月29日(金) (東京)、第2回 2015年7月25日(土) (東京)

第3回 2015年9月19日(土) (東京) 第4回 2015年11月13日(金) (静岡)

第5回 2016年1月23日(土) (東京) 第6回 2016年3月2日(土) (東京)

② 総会・春季研究発表会・公開シンポジウムの開催

総会・春季研究発表会・公開シンポジウムを下記のとおり開催した。

日時：2015年5月29日(金)～30日(土)

場所：大島町開発総合センター

i. 一般論文発表：5月29日(金) 13:30-16:30、57件

ii. 2015年度地域安全学会総会：5月29日(金) 16:45～18:15

iii. 公開シンポジウム「台風26号土砂災害からの復興島づくり」：5月30日(土) 10:00～12:00

基調講演：宮下加奈((社)減災・復興支援機構) 「三宅島の全島避難と島の復興」

コーディネーター：中林一樹(明治大学)

パネラー：大島町土砂災害復興推進室長、大島支庁土砂災害対策課長
(一社)大島観光協会長 白井岩仁氏、ホテル椿園 清水勝子氏

iv. 現地見学会：5月30日(土) 12:30～15:00

台風26号水害地域の土砂災害対策とまちの再建状況の視察

③ 東日本大震災連続ワークショップ2015 in 気仙沼

下記の企画を実施した。

日時：2015年10月3日(土)～4日(日)

場所：気仙沼市中央公民館

i. 東日本大震災ワークショップ：19件

ii. 被災地および復興状況見学会

④ 秋季研究発表会の開催

秋季研究発表会を下記のとおり開催した。

日時：2015年11月13日(金)～14日(土)

場所：静岡県地震防災センター

査読論文発表：36件、一般論文ポスター発表：30件

⑤ 地域安全学会論文集・梗概集の刊行

・春季研究発表会において「地域安全学会梗概集No.36」を刊行した。

・秋季研究発表会において「地域安全学会論文集No.25(電子ジャーナル論文)、No.26(電子ジャーナル論文)、No.27(研究発表会論文)」を刊行した。

・秋季研究発表会において「地域安全学会梗概集No.37」を刊行した。

地域安全学会論文集No.25、No. 26（電子ジャーナル論文）をホームページ上に公開した。

⑥ 地域安全学会論文賞・論文奨励賞・年間優秀論文賞の選出

・査読論文（電子ジャーナル）No.25(2015. 3)、査読論文（電子ジャーナル）No.26(2015. 7)および査読論文（研究発表会）No. 27(2015. 11)に掲載された合計45編の論文を対象として、2015年地域安全学会論文賞の審査を行った。審査会における審議の結果、本年は「該当なし」となった。

また、同論文を対象に年間優秀論文賞の震災を行い、以下の2編の論文の筆頭著者が選出された。

- i. 「地域データの乏しいアジアの洪水常襲地帯における簡便な洪水リスク評価手法に関する研究 -フィリピン共和国パンパンガ川流域を対象として-」（地域安全学会論文集No. 27）大原美保（土木研究所）
- ii. 「非線形写像法による航空レーザ測量データの幾何補正とそれに基づく2014年広島豪雨災害での崩壊土砂量の推定」（地域安全学会論文集No. 27）三浦弘之（広島大学）

⑦ 地域安全学会「技術賞」の選出

9回目を迎えた地域安全学会技術賞の募集に対し、1件の応募登録があり、審査委員9人による厳正な審査の結果、本年度は該当者なしとなった。

⑧ 地域安全学会「優秀発表賞」の選出

第36回（2015年度）地域安全学会研究発表会（春季）において、57編の口頭発表が行われた。審査の結果、以下の発表を行った1名を授賞対象者として選出した。

- 「心理的要因に着目した建物火災避難動的評価－筑波大学学生宿舎を対象に－」土方孝将氏（筑波大学）

第37回（2015年度）地域安全学会研究発表会（秋季）において、30編の一般論文のポスター発表が行われた。審査の結果、以下の発表を行った2名を授賞対象者として選出した。

- 「平成27年9月に茨城県常総市で発生した洪水氾濫の地理的特徴」南雲直子氏（国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター（ICHARM））
- 「富士山噴火に伴う降灰荷重の評価と構造物へ及ぼす影響について」荻野和臣氏（㈱竹中工務店技術研究所）

⑨ ニュースレター発行とホームページ管理

2015年度はニュースレターNo.91－No.94の計4号を発行し、学会ホームページ上に掲載した。今後、学会の広報活動の柱としてホームページを位置づけ、引き続き内容の充実を図っていくこととした。

⑩ 会員メーリングリストによる情報提供

会員への迅速な情報発信を目指して、メールによる情報配信を行った。個人情報保護を考慮しつつ、効率的な会員サービスと会員管理を進めた。

⑪ 企画研究小委員会研究活動

企画研究小委員会において3テーマについて研究活動を実施した。

⑫ 東日本大震災関連活動

i. 宮城県気仙沼

宮城県気仙沼市において「東日本大震災連続ワークショップ2015 in 気仙沼」を開催した。

- ii. 東日本大震災特別委員会ワークショップにおいて「地域安全学会東日本大震災特別論文集No. 4」を刊行した。

⑬ 国際学術交流

2015年7月21日に米国コロラド州ボルダーにて、2016年10月にニュージーランドで開催する第4回国際都市防災会議の準備委員会に、本学会からは立木茂雄会長、牧紀男理事が参加した。また、11月28日に第3回アジア都市防災会議が韓国、高陽市のKINTEXにて開催され、本学会からは立木茂雄会長が基調講演を行い、小山倫史（関西大）が参加し、報告を行った。

⑭ 防災学協会連合組織への参加

「防災学協会連携体」という名称で正式に設立された。1月9日に開催された防災学術連携体の設立記念フォーラムに立木会長と加藤理事が参加した。毎年12月にフォーラムを開催すること、関連学会と国の防災担当者との面談の場を設けることが決議されたこと、防災学術連携体に幹事学会が設立されたことが報告された。

⑮ シンポジウム等の共催・参加

2015年7月2日～3日 日本学術会議（東京都港区六本木7-22-34）で開催された「安全工学シンポジウム-安心・安全な社会サイクル構築-」を共催した。このシンポジウムは、日本学術会議主催であり、安全工学に関する各分野における問題点提起、優れた研究成果の講演と技術交流により、安全工学および関連分野の発展に寄与することを目的とし、特別講演をはじめオーガナイズドセッション、パネルディスカッション、一般講演等が開催された。

⑯ 役員選挙の実施

2015年度新役員選挙を実施し、理事16名、監事1名を選出した。

⑰ 会員数および年会費納入（2016年3月末）

	会員数	2015年度 会費納入状況
賛助会員	2	2
正会員	567	518
学生会員	86	57

2) 2015年度決算

決算に関して、井野監事、山崎監事および重川先生による監査を受けた。指摘された修正を取り入れた以下の決算報告に対して承認をいただいている。

【貸借対照表】

(単位：円)

資産の部		負債及び正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
現金	122,353	未払金	782,449
普通預金	4,669,726	預り金	7,656
(うち、国際交流事業用資金)	43,440	前受金	104,000
【口座別内訳】 ゆうちょ銀行	74,642	仮受金	3,000
振替預金	271,135	未払法人税等	76,000
春季研究発表	1,085,197		
秋季研究発表	898,690		
りそな査読論文	1,970,010		
りそなワークショップ	370,052		
商品	2,175,098		
前払費用	38,260		
未収会費	702,000		
未収入金	0		
ソフトウェア	142,296	負債合計	973,105
資産合計	7,849,733	その他一般正味財産	6,876,628
		正味財産合計	6,876,628
		負債・正味財産合計	7,849,733

【損益計算書】

(単位：円)

科 目	金 額
【 I 収入】	
1 会費収入	4,320,000
2 寄付金収入	0
3 受取助成金	0
4 事業収入	
ア 梗概集登載料	890,000
イ 梗概集販売料	383,719
ウ 論文集登載料	1,600,000
エ 論文集査読料	640,000
オ 論文集販売料	192,715
カ DVD販売料	0
5 雑収入	
ア 懇親会費	1,293,500
イ 視察費	397,400
ウ その他	31,700
6 受取利息	737
収入合計	9,749,771
【 II 支出】	
1 人件費	46,719
2 通信・広報費	260,783
3 印刷・編集費	1,351,343
(印刷編集費棚卸対応分)	-249,471
4 会議費	177,960
5 旅費交通費	1,277,043
6 交際費	1,210,178
7 委託費	851,040
8 消耗品費	18,559
9 事務用品費	3,108
10 減価償却費	71,148
11 支払手数料	19,008
12 謝金	135,000
13 補助金	30,000
14 事務局費	1,296,000
15 租税公課	143
16 運営費	389,830
17 雑費等	928,806
支出合計	7,817,197
税引前当期利益	1,932,574
法人税等	76,000
当期利益	1,856,574
前期繰越利益金額	5,020,054
次期繰越利益金額	6,876,628

2015年度地域安全学会収支計算書
(2015年4月1日～2016年3月31日)

収入の部

(単位：円)

科 目	①予算	②決算	比較①-②	備 考
1.事務局・総務・総会・理事会				
会費収入	3,723,000	3,907,000	▲ 184,000	正会員7,000円×514名 正会員5,000円×1名、学生会員2,000円×52名 賛助会員100,000円×2社 ※本収会費は除く
小 計	3,723,000	3,907,000	▲ 184,000	
3.学術				
1)事業収益				
ウ 論文集登載料	1,400,000	1,600,000	▲ 200,000	登載料 (2万円+5,000円/2ページ) ×55名
エ 論文集査読料	700,000	640,000	60,000	査読料：1編10,000円×64名
オ 論文集販売料	180,000	192,715	▲ 12,715	1冊：4,000円×47冊、送料
カ DVD販売料	50,000	0	50,000	1枚：2万円 (会員価格)
小 計	2,330,000	2,432,715	▲ 102,715	
5.春季研究発表会				
1)事業収益				
ア 梗概集登載料	350,000	380,000	▲ 30,000	登載料 (ページ数対応5,000円/2ページ) ×53名
イ 梗概集販売料	180,000	120,252	59,748	1冊：4,000円×26冊、DVD、CD12枚、送料
2)雑収入				
ア 懇親会費	300,000	720,000	▲ 420,000	参加費+宿泊費 ※クーポン券の返金分@3000×48名は差引)
イ 視察費	90,000	307,400	▲ 217,400	見学会参加費、昼食代
小 計	920,000	1,527,652	▲ 607,652	
6.秋季研究発表会				
1)事業収益				
ア 梗概集登載料	360,000	300,000	60,000	登載料 (ページ数対応5,000円/2ページ) ×30名
イ 梗概集販売料	170,000	177,342	▲ 7,342	1冊 4,000円×44冊、DVD、CD2枚、送料
2)雑収入				
ア 懇親会費	400,000	372,500	27,500	参加費@7,500×42 @2,500×23
小 計	930,000	849,842	80,158	
7.東日本大震災連続ワークショップ				
1)事業収益				
ア 梗概集登載料	170,000	210,000	▲ 40,000	登載料 (ページ数対応5,000円/2ページ) ×19名
イ 梗概集販売料	60,000	87,425	▲ 27,425	1冊 3,000円又は2,000円、送料
2)雑収入				
ア 懇親会費	190,000	201,000	▲ 11,000	参加費(一般)6,000×32名 (学生)3,000×3名
イ 視察費	140,000	90,000	50,000	3,000円×30名
ウ その他	0	30,000	▲ 30,000	送迎代 1,500×20名
小 計	560,000	618,425	▲ 58,425	
8.受取利息	5,000	737	4,263	
収入合計	8,468,000	9,336,371	▲ 868,371	

支出の部

(単位：円)

科目	①予算	②決算	比較①-②	備 考
1.事務局・総務・総会・理事会				
1) 通信費・広報費	190,000	168,363	21,637	切手、送料、電話代等、総会案内状發送代等
2) 印刷編集費	355,000	86,491	268,509	コピー代、封筒印刷代、総会資料等印刷代等
3) 会議費	120,000	128,460	▲ 8,460	理事会会場代、監査会場代
4) 旅費交通費	860,000	498,026	361,974	大会等事務局交通費、宿泊費、理事会参加旅費等
5) 交際費	30,000	0	30,000	
6) 委託費	1,620,000	1,620,000	0	会計事務所委託費月27,000円 H27年4月～H28年3月 事務局委託費月108,000円 H27年4月～H28年3月
7) 消耗品費	40,000	19,690	20,310	消耗品、10万円以下の備品、事務用文具等
8) 支払手数料	15,000	7,560	7,440	銀行振込手数料
9) 租税公課	70,000	143	69,857	源泉所得税、利子税、収入印紙代等
小 計	3,300,000	2,528,733	771,267	
2.広報				
1) 委託費	131,000	24,192	106,808	HP情報更新料・サーバ利用料、振込手数料
小 計	131,000	24,192	106,808	
3.学術				
1) 人件費	0	5,119	▲ 5,119	論文データ等アップデート作業代
2) 通信費・広報費	70,000	84,480	▲ 14,480	論文發送料
3) 印刷編集費	900,000	821,880	78,120	論文集No.25.26.27 250部、コピー代
4) 会議費・旅費交通費等	510,000	365,040	144,960	学術委員会昼食代、飲食代等
5) 委託費	625,000	509,112	115,888	研究発表会論文システム運営費、振込手数料
6) 消耗品費	5,000	1,058	3,942	消耗品、10万円以下の備品
小 計	2,110,000	1,786,689	323,311	
4.国際交流				
1) 運営費	110,000	0	110,000	
小 計	110,000	0	110,000	
5.春季研究発表会				
1) 人件費	30,000	8,000	22,000	アルバイト：3名
2) 通信費・広報費	2,000	3,156	▲ 1,156	
3) 印刷編集費	165,000	186,084	▲ 21,084	模範集No.36 (CD付) 80部、振込手数料
4) 旅費交通費	150,000	279,512	▲ 129,512	現地見学会バス、投資者旅費
5) 交際費	390,000	719,150	▲ 329,150	懇親会費用、宿泊費等
6) 消耗品費	10,000	0	10,000	賞状用紙、文房具代等
7) 謝金	120,000	105,000	15,000	パネリスト、パフォーマー謝礼
小 計	867,000	1,300,902	▲ 433,902	
6.秋季研究発表会				
1) 人件費	70,000	42,120	27,880	アルバイト：3名 (交通費含む)
2) 通信費・広報費	5,000	0	5,000	模範集送料、賞状送料
3) 印刷編集費	155,000	119,080	35,920	模範集No.37 (CD付) 80部、振込手数料
4) 交際費	400,000	368,442	31,558	懇親会会場代、料理代
5) 消耗品費	5,000	1,069	3,931	賞状、賞状用筒、備品
6) 謝金	30,000	30,000	0	パフォーマー謝金
7) 運営費	260,000	267,600	▲ 7,600	昼食、飲み物代、パネル設置代
小 計	925,000	828,311	96,689	
7.東日本大震災連続7-クショツブ				
1) 通信費・広報費	5,000	4,784	216	
2) 印刷編集費	155,000	142,344	12,656	特別論文集No.4(CD付) 80部、振込手数料
3) 交際費	190,000	189,986	14	懇親会
4) 謝金	20,000	0	20,000	講師謝礼
5) 運営費	150,000	174,958	▲ 24,958	見学会 (バス代)、昼食代等
小 計	520,000	512,072	7,928	
8.その他事業				
1) 旅費交通費	205,000	55,965	149,035	研究小委員会 (2つ) の旅費交通費、振込手数料
2) 補助等	172,000	30,000	142,000	安全工学シンポジウム共催分担金、防災学術理携体会費、学会30周年記念事業準備費用
小 計	377,000	85,965	291,035	
支出合計	8,340,000	7,066,864	1,273,136	
収入-支出		2,269,507		

なお、科目間の流用を認めます。

2016年6月3日

上記の通り収支決算を報告いたします。

地域安全学会

監事 井野 盛夫

監事 山崎 文雄

監事 重川 希志依



3) 2016年度役員の改選結果

① 改選対象役員

i. 理事

市古 太郎	首都大学東京大学院都市環境科学研究科
糸井川栄一	筑波大学システム情報系
梅本 通孝	筑波大学システム情報系
大西 一嘉	神戸大学大学院工学研究科
大原 美保	(国立研究開発法人) 土木研究所
岡田 成幸	北海道大学大学院工学研究院
柄谷 友香	名城大学都市情報学部
鋤田 泰子	神戸大学大学院工学研究科
田中 聡	常葉大学大学院環境防災研究科
西川 智	独立行政法人 水資源機構
秦 康範	山梨大学工学部
牧 紀男	京都大学防災研究所
松岡 昌志	東京工業大学大学院総合理工学研究科
宮野 道雄	大阪市立大学 大学運営本部
村上 ひとみ	山口大学大学院理工学研究科
森 伸一郎	愛媛大学大学院理工学研究科

ii. 監事

井野 盛夫	常葉大学環境防災学部
-------	------------

以上、理事16名、監事1名

② 選出役員

規程により以下の理事、監事を無投票で選出した。

i. 理事

生田 英輔#	大阪市立大学大学院生活科学研究科
市古 太郎	首都大学東京大学院都市環境科学研究科
糸井川栄一	筑波大学システム情報系
梅本 通孝	筑波大学システム情報系
大西 一嘉	神戸大学大学院工学研究科
大原 美保	(国立研究開発法人) 土木研究所
岡田 成幸	北海道大学大学院工学研究院
柄谷 友香	名城大学都市情報学部
小山 真紀#	岐阜大学流域圏科学研究センター
田中 聡	常葉大学大学院環境防災研究科
西川 智	(一般社団法人) 日本地域開発センター
秦 康範	山梨大学工学部
牧 紀男	京都大学防災研究所
松岡 昌志	東京工業大学大学院総合理工学研究科
森 伸一郎	愛媛大学大学院理工学研究科

ii. 監事

宮野 道雄#	大阪市立大学 大学運営本部
--------	---------------

以上、理事15名、監事1名 (#2016年度新規選出)

4) 2016年度事業計画

① 理事会の開催

2016年度は理事会を下記のとおり開催する。

- 第1回 2016年 6月3日 (土) 高知 (高知県立県民文化ホール)
- 第2回 2016年 7月16日 (土) 東京 (同志社大学東京オフィス)
- 第3回 2016年 9月10日 (土) 東京 (同志社大学東京オフィス)
- 第4回 2016年 11月5日 (土) 静岡 (静岡地震防災センター)
- 第5回 2017年1月21日 (土) 東京 (同志社大学東京オフィス)
- 第6回 2017年 3月25日 (土) 東京 (同志社大学東京オフィス)

② 総会・春季研究発表会・公開シンポジウムの開催

総会・春季研究発表会・公開シンポジウムを下記のとおり開催する。

日時：2016年6月3日 (金)～4日 (土)

場所：高知県県民文化ホール

(〒780-0870 高知県高知市 本町4丁目3-30)

③ 東日本大震災連続ワークショップ2016 in 石巻の開催

日時：2016年8月5日 (金)～6日 (土)

場所：岩手県石巻市

- ・市の関係者による基調講演、研究発表会
- ・現地見学会、ディスカッション

④ 秋季研究発表会の開催

秋季研究発表会を下記のとおり開催する

日時：2016年11月4日 (金)～5日 (土)

場所：静岡地震防災センター

⑤ 地域安全学会論文集・梗概集の刊行

秋季研究発表会において「地域安全学会梗概集 No. 38」を刊行し、優秀発表賞を選出する。

地域安全学会論文集の論文募集は年2回とし、今年度は地域安全学会論文集 No. 29、同 No. 30 (電子ジャーナル論文) の論文を募集する。

秋季研究発表会において「地域安全学会論文集 No. 28、No. 29」を刊行し、地域安全学会論文奨励賞を選出する。

地域安全学会論文集 No. 30 (電子ジャーナル論文) をホームページ上で公開する。

地域安全学会論文集 (No. 28、No. 29) を対象に地域安全学会論文賞および年間優秀論文賞を選出する。

⑥ 広報活動の強化と会員管理

サービスの向上を目指して、会員へのメールによる各種情報配信、ホームページによる情報提供、印刷物による情報発信について、各々の機能分化した情報提供を実施する。

⑦ 地域安全学会技術賞の選出

表彰委員会において第9回地域安全学会技術賞の選考を行う。

⑧ 企画研究小委員会活動

企画研究小委員会において3テーマについて研究活動を実施する。

⑨ 国際学術交流

2016年10月18日から21日までニュージーランドのウェリントン市で開催される第4回国際都市防災会議に、本学会からも多数の会員が参加する予定である。

⑩ 役員選挙の実施

2017年度新役員選挙を実施し、理事15名以内、監事2名以内を選出する。

⑪ 東日本大震災に関する支援・研究活動の推進

東日本大震災特別委員会による被災地支援・研究活動の実施、東日本大震災学協会連絡協議会への参画を行う。

⑫ 30周年に向けた企画

11月3日(木)に、東京大学生産研究所コンベンションホールにおいて、30周年記念事業として、地域安全学会のこれまでの活動と今後の活動の方向性を議論するシンポジウムを開催する。

⑬ 文部科学省リスクコミュニケーションのモデル事業への応募

平成28年度科学技術人材育成費補助事業「リスクコミュニケーションのモデル形成事業(学協会型)への公募に参画し、採択されれば5年間にわたり自然災害分野におけるリスクコミュニケーションの諸課題の実践的な研究を学会として先導する。

5) 2016年度予算

2016年度地域安全学会予算

(2016年4月1日～2017年3月31日)

収入の部

(単位：円)

科 目	2016年予算	2015決算	備 考
1.会費収入	3,823,400	3,907,000	正会員:7,000円×495名(550名×90%) 学生会員:2,000円×79名(88名×90%) 賛助会員100,000円×2社
2.寄付金収入	0	0	
3.受取助成金等	10,000,000	0	
4.春季研究発表会			
1)事業収益			
ア 梗概集登載料	300,000	380,000	登載料(ﾊﾞｰｼﾞ数対応5,000円/2ﾊﾞｰｼﾞ)×30名
イ 梗概集販売料	120,000	118,952	1冊:4,000円×30部
2)雑収入			
ア 懇親会費	300,000	720,000	懇親会参加費:6,000円×45名、3,000円×10名
イ 視察費	90,000	307,400	見学会参加費:3,000円×30名
ウ その他	0	0	
小 計	810,000	1,526,352	
5.秋季研究発表会			
1)事業収益			
ア 梗概集登載料	300,000	300,000	登載料(ﾊﾞｰｼﾞ数対応5,000円/2ﾊﾞｰｼﾞ)×30名
イ 梗概集販売料	160,000	177,342	1冊:4,000円×40部
2)雑収入			
ア 懇親会費	387,500	372,500	懇親会参加費:7,500円×45名、2,500円×20名
イ 視察費	0	0	
ウ その他	0	0	
小 計	847,500	849,842	
6.東日本大震災連続ワークショップ			
1)事業収益			
ア 梗概集登載料	200,000	210,000	登載料(ﾊﾞｰｼﾞ数対応5,000円/2ﾊﾞｰｼﾞ)×20名
イ 梗概集販売料	90,000	87,425	1冊:3,000円×30部
2)雑収入			
ア 懇親会費	195,000	201,000	懇親会参加費:6,000円×30名、3,000円×5名
イ 視察費	90,000	90,000	見学会参加費:3,000円×30名
ウ その他	0	30,000	
小 計	575,000	618,425	
7.学術			
1)事業収益			
ウ 論文集登載料	1,500,000	1,600,000	登載料(2万円+5,000円/2ﾊﾞｰｼﾞ)×60名
エ 論文集査読料	600,000	640,000	査読料:1編10,000円×60名
オ 論文集販売料	160,000	192,715	1冊:4,000円×40部
カ DVD販売料	20,000	0	1枚:2万円(会員価格)×1枚
小 計	2,280,000	2,432,715	
8.受取利息	1,000	737	
収入合計	18,336,900	9,335,071	

支出の部

(単位：円)

科目	①予算	②決算	備 考
1.事務局・総務			
2) 通信費・広報費	80,000	77,935	切手、送料、電話代等
3) 印刷編集費	5,000	27,540	コピー代、封筒印刷代
4) 会議費	10,000	2,460	監査会場代
5) 旅費交通費	200,000	169,990	監査の為の交通費、大会等事務局交通費、宿泊費
6) 交際費	30,000	0	
7) 委託費	324,000	324,000	委託費月27,000円 H27年4月～H28年3月
8) 消耗品費	30,000	16,432	消耗品、10万円以下の備品
9) 事務用品費	10,000	3,108	事務用文具等
11) 支払手数料	5,000	3,888	銀行振込手数料
12) 謝金	0	0	
14) 事務局費	1,728,000	1,296,000	委託費月144,000円 H27年4月～H28年3月
15) 租税公課	10,000	143	源泉所得税、利子税、収入印紙代等
16) 運営費	0	0	
17) 雑費等	0	150	
99) 予備費	0	0	
小 計	2,432,000	1,921,646	
2.広報			
7) 委託費	30,000	23,760	HP情報更新料・サーバ利用料
11) 支払手数料	1,000	432	銀行振込手数料
小 計	31,000	24,192	
3.総会・理事会			
1) 人件費			
ア アルバイト給料	0	0	
2) 通信費・広報費	90,000	90,428	総会の案内資料印刷・発送代
3) 印刷編集費	60,000	58,951	案内送付用封筒・ハガキ・案内資料印刷・メダル作成代
4) 会議費	130,000	126,000	理事会 会場費
5) 旅費交通費	400,000	328,036	理事会 旅費交通費
11) 支払手数料	5,000	3,672	銀行振込手数料
12) 謝金	0	0	
小 計	685,000	607,087	
4.学術			
1) 人件費			
ア アルバイト給料	0	5,119	論文データ等アップデート作業代
2) 通信費・広報費	90,000	84,480	論文発送料
3) 印刷編集費	830,000	821,880	論文集No.25.26.27 印刷料、コピー代
4) 会議費	50,000	49,500	学術委員会昼食代、飲食代
5) 旅費交通費	400,000	315,540	学術委員会参加交通費
7) 委託費	518,400	503,280	研究発表会論文システム運営費 =研：318,600+電：199,800
8) 消耗品費	5,000	1,058	消耗品、10万円以下の備品
11) 支払手数料	5,000	5,832	銀行振込手数料
16) 運営費	0	0	
17) 雑費等	0	0	
小 計	1,898,400	1,786,689	
5.国際交流			
11) 支払手数料	10,000	0	
13) 補助等	0	0	
16) 運営費	100,000	0	
小 計	110,000	0	

科目	①予算	②決算	備 考
6.春季研究発表会			
1) 人件費			
ア アルバイト給料	10,000	8,000	
2) 通信費・広報費	3,000	3,156	
3) 印刷編集費	180,000	184,140	梗概集No.36
4) 会議費	0	0	
5) 旅費交通費	280,000	279,512	現地見学会バス、投資者旅費
6) 交際費	300,000	651,750	懇親会費用
8) 消耗品費	5,000	0	賞状用紙他
9) 事務用品費	5,000	0	文房具代
11) 支払手数料	5,000	1,944	銀行振込手数料
12) 謝金	100,000	105,000	パネリスト、パフォーマー謝礼
16) 運営費	90,000	67,400	現地見学会費用（昼食代含む）
17) 雑費等	0	0	
小 計	978,000	1,300,902	
7.秋季研究発表会			
1) 人件費			
ア アルバイト給料	40,000	33,600	
2) 通信費・広報費	5,000	0	梗概集送料、賞状送付料
3) 印刷編集費	120,000	117,784	梗概集No.37
4) 会議費	0	0	
5) 旅費交通費	30,000	8,520	アルバイト交通費
6) 交際費	387,500	368,442	懇親会会場代、料理代
8) 消耗品費	5,000	1,069	賞状、賞状用筒、備品
9) 事務用品費	0	0	
11) 支払手数料	5,000	1,296	
12) 謝金	30,000	30,000	パフォーマー謝金
16) 運営費	260,000	267,600	昼食、飲み物代、パネル設置代
17) 雑費等	0	0	
小 計	882,500	828,311	
8.東日本大震災連続ワークショップ			
2) 通信費・広報費	5,000	4,784	
3) 印刷編集費	140,000	141,048	特別論文集No.4(CD付) 80部
5) 旅費交通費	120,000	120,128	現地見学会等バス代
6) 交際費	195,000	189,986	懇親会
11) 支払手数料	5,000	1,296	銀行振込手数料
12) 謝金	100,000	0	講師謝礼
16) 運営費	90,000	54,830	見学会、昼食代等
17) 雑費等	0	0	
小 計	655,000	512,072	
9.リスクコミュニケーション特別企画研究小委員会			
16) 運営費	10,000,000	0	
小 計	10,000,000	0	
10.その他事業			
5) 旅費交通費	200,000	55,317	研究小委員会（2つ）の旅費交通費
6) 交際費	0	0	
11) 支払手数料	5,000	648	銀行振込手数料
13) 補助等	30,000	30,000	安全工学シンポジウム共催分担金、防災学術連携体会費
16) 運営費	1,100,000	0	学会30周年記念事業運用費 会場費+印刷費+その他雑費：1,000,000円 安全・安心若手研究会の運営費：100,000円
17) 雑費等	0	0	
小 計	1,335,000	85,965	
支出合計	19,006,900	7,066,864	

収入-支出	-670,000
-------	----------

なお、科目間の流用を認めます。